

今日はマスクした上に、前に透明のアクリル板がありまして、飛沫2重ブロック。絶対皆様に行かないようにとやってるんですが、実はね、メッチャしんどいんです。吐く時はそんなに抵抗ないけど、吸う時ですよ。吸わんと話せないのですね。今日は短めに。途中で倒れたらあかんという事で。というのは、この間、自衛官がマスクしたままの訓練で亡くなられてね。炎天下マスクするって、予防にはいいかもしれないけど、生命に絶対良くないと思います。なので、安全のためにこうしてるんですが、少しコンパクトにお話しさせていただきたいと思います。

でも、コロナは悪い事ばかりではないんですね。先日、あるクリスチャン女性からご連絡いただきました。大学生の息子さんがいて、彼はお母さんの信仰をあまり良く思っていないんです。上京して大学に行ってるけど、物価がすごく高いので、親の仕送りだけでは生活できない。それで、一生懸命アルバイトしながら大学に通うんですが、オンライン授業になってしまって。それはそれでいいんですが、肝心のバイトがクビなんです。店の存続が大変で。

この集会の通りに“そば喜”というお店がありますね。それをちょっと行った所に、お風呂屋さんあるじゃないですか。若者たちご最頂の。なくなってしまったんですね。この近所でも、元々店らしい店がない所ですけど、バタバタと潰れるという。

彼もクビになってしまって泣きついて来た。「お母さん、いつもの仕送りだけじゃなくて、臨時で送って。」「10万円、入るでしょ。」「まだ来てないから送って。」「送るけど、その代わりに、聖書の分かり易い動画があるから、それ聞いてよ。」引き換え条件で言ってみた。そしたら「だったら、要らんわ」って。お金ですよ。

彼は何かあったか知らないけど、聖書に対する反発があり、親の信仰に対する反発があって。「堅苦しい話じゃないから。大阪の高原さんという人が話してるから、それ聞きなさい。」聞きなさい。聞きなさい。「言われれば言われるほど、もっと聞きたくなくなるわ！」断固拒否。お母さんはちょっと言い過ぎたかと思って、見ないのに、お金送りはったんですね。親ですね。お母さんですね。そしたらしばらくして電話があって「お母さん、YouTube 見たよ。」「見てくれたの！」「全然、見る気なかってんけど。」

前のバイト先で色々世話になった先輩がいて、町でばったり会った時、すごく清々しいというか、バイトがなくなったのに明るくて清々しい。「お前、何してんねん？」「まだプータローです。」「ちょっと、コーヒーでも飲もうか。」2人で久しぶりに話をしようと思ったら、先輩のスマホがチロチロリンかなんか鳴ったそうです。開けてみたら「おお！来た来た！」何が来たかという、わたくしの番組をチャンネル登録してて、新しい動画がアップされると合図がある。「チロチロリンや！」って。

「これオモロイから、お前も見てみろよ。」「何ですか？」「あのな、聖書は宗教の本じゃない。道徳の本じゃない。預言の本だ」から始まって、言いそうになったんで、「あ、ウチの母親もおんなじ事言うてましたけど、神様の話やったら別にいいです」と断ったそうです。そしたら「お前が言ってる神というのは人間が作った神や。」モノマネまでしてくれて。

「このフレーズ知りたかったら、これ聞け！」喫茶店の中で聞いたそうです。お店に迷惑やと思いますよ。だけど、不思議な展開があったという事でお母さんに連絡があって、「お母さん、聞いたで」と。それで、ちょっと中毒性があるという事で、今も聞いてくださっていると伺いました。

自粛騒ぎとか全世界が迷惑を被っている現状ですが、神様はそれ自体は忌まわしいような状態・現状をも、良いことを生み出すために良くして下さる。
良いことの実現のために用いる事が出来るお方なんですね。

人生の中で色々な嫌な事・辛い事・しんどい事あるけど、それにフォーカスしていたら、人生には嫌な事しか起こらないという人生観に陥ってしまい易いんです。人生に嫌な事しか起こらない人って無いです。いい事しか起こらない人生も無いけど、嫌な事しか起こらない人生も無いんですね。
でも、嫌な事しか起こらないということにフォーカスすると、そのような人生観になってしまうんです。

この世界のはるか上に、私たちの人生の背後に、人生を良くしよう・良くしよう・良くなるようにしようと一生懸命働きかけている方がおられるのです。それが、あなたの造り主であられる創造主なる神様。創造主なる神様の言葉が聖書なんですね。
今日は1箇所、有名なところを皆さんと一緒に見たいと思います。

I コリント 13:13

こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら三つです。
その中で一番すぐれているのは愛です。

いつまでも残るものの反対は、時間と共に廃れて行くものと言い換える事が出来ると思います。
いつときチヤホヤされるけど、時間と共に見向きもされなくなるもの、ありませんか？
いつときは最先端だけど、いつの間にか時代遅れになって、誰にも関心を持ってもらえなくなるもの、あるんじゃないですか？

昔は地方に行くと、おトイレの和式便器が生き残ってたけど、最近見いひんなあ。
どこ行っても洋式になってますね。これはある時から、外国人観光客が地方にまでドッと押しかけるようになって、それで、使い方が分からなくて、大変な事になってしまうというね。後始末、大変なんです。そこで洋式に入れ替えたけど、その方が楽だし便利だというのが分かったら、あっという間に和式は廃れて無くなる。日本の伝統を守るべきだ！そんな事言う人はいません。ご高齢の方ほど楽だと思えますよ。

何年か前に、ある集会の日曜学校のキャンプに行った事があるんですが、十徳（じゅっとく）ナイフ、分かりますか？1つのナイフに10種類の器具・刃物・道具が付いてるんです。
ナイフ・アイスピック・コルク栓抜くヤツとかが1個のホルダーに入っているんですよ。
少年時代、これが欲しくて。持ってるだけで“デキる男”になったような錯覚。持ってるだけで、無人のジャングルに置き去りにされても、生きて行けるような錯覚を与えてくれる男のロマン。十徳ナイフ。

それを持って来た若者が見せて、その中の缶切りを「何に使うか分かる？」と子供たちに聞いたら、分かった子、1人もいないんですよ。今の缶は全部ワンタッチで開くように、蓋にタブがくっついているから。そんな便利な物がなかった時は、缶切りがないと缶詰めのご馳走が食べられないので、なくてはならない物と言われてたけど、便利になったら忘れ去られます。なので、今はありません。
いつまでも残らない物・既に役割を終えて廃れてしまった物・お役御免となっているんですね。

だけど聖書は、どんなに時間が経っても、またどんなに疫病が蔓延しても、またどんなに自分自身がピンチになっても、息を引き取る直前になったとしても、価値を失わないで残る、価値の意味が残るものが3つあると言うんです。永久に価値を失わない三位一体/3つのもの。

それは、**信仰と希望と愛、これら三つ**です。

但し、信仰ならどんな信仰でもいい・希望なら何だっていい・愛なら何でもいい。そんなんじゃないです。神による信仰・神による希望・神の愛。

“神”が省略されているけど、人間的な事をここで紹介してるのではありません。

これを一つひとつご紹介したいと思います。

1. 神への信仰

信仰はヘブライ語で“エムナー”。“信じる”という意味の他に“真実”という意味があります。

実は、信仰そのものには価値はないんです。

信仰が価値を持つのは、真実なものを信頼する時に初めて価値ある態度になるのであって、世の中には信じちゃいけないものもあるんですね。

信じちゃいけないものを純粋な信仰で信じたら酷い目に遭います。それは愚かな態度だと語るんですね。

銀行や郵便局のATMに行くと、必ずポスターが貼ってあって「オレオレ詐欺に注意してください！」

「持続化給付金の手続きで、あなたの口座番号を教えろと言うことはありません！」

引っかけられないように、引っかけられないように。オレオレ詐欺、皆さん、大丈夫ですか？

大丈夫やと思っている人に限って、大丈夫じゃないらしい。

昨年1年間、オレオレ詐欺でお金を巻き上げられたご老人たちのお金の総額、300億円ですよ。

どこにそんなお金？日本のご老人、お金持ちか?! なけなしの金や。それが300億。去年1年間だけで。

前の年も・その前の年も・その前の年も、この15年間、毎年数百億円のお金が巻き上げられている。

なぜお金を振り込んでしまうのか？孫やと勘違いして信じたからでしょ。

信じてはならないものを信頼に値すると誤解して・騙されて・信じた結果、被害を被ったんですね。

だから、信じるって、何でもかんでもいいのではありません。

信仰で1番大事なことは、純粋な信仰なのか？揺るがない信仰なのか？立派な信仰なのか？

そうじゃないんです。1番大事なことは、“誰を信じているのか”という信仰の対象なんです。

間違ったものをピュアな心で信じててもダメージ被るだけです。

正しい方・揺るがない方・真実な方を信頼する。これが、いつまでも残る価値があるものなんですね。

絶対に信頼して間違いのない方って誰か？聖書は「神だけだよ。」

あなたをお造りになった神…。きっと、その大学生も見てるようですから、ちょっとやりたいと思います。

人間が作った神じゃなくて、人間をお造りになった神ですよ。

人を造られた神に国境はありません。日本人を造り・韓国人を造り・中国人を造り・世界中の人々を造り。

全世界に今74億人がいると言われてるけど、ずっとルーツをさかのぼって行けば最初の男と女やん。

その最初の人間を造った作者、宇宙の第一原因者を聖書は創造主と言います。

ところで、日常生活で色んな時間を使いますが、時間の概念は、ほぼほぼ天体の動きに基いて定められています。例えば、1日とは地球という天体が1周して、元のポジションに戻るまでの自転の1周ですね。これが約24時間。

1 か月とは、月が地球の周りを1周して元に戻るまでの周期。新月から新月まで。満月から満月まで。月という天体が地球を公転する周期に基いて、ひと月と定まっています。

では1年は？地球が太陽の周りを1周公転する期間。うるう年があるので補正が必要ですが約365日。これを1年としているんです。

天体の動きに基いて定められているのが、私たちが日常生活で使っている時間の概念なんですね。

1日を24分割したのが1時間。1時間を60分割したのが1分。1分を60分割したのが1秒。

1日という天体に基いて定められた時間を、数学的に分割して定めたのが時間・分・秒です。

何を言いたいかというと、年にしても月にしても1日にしても、土台になっているのは、天体の動きに基いて時間の概念が作られている。

ところが、1週間は7日でしょ。古代世界にさかのぼっても1週間は7日。

東洋文明圏古代文明・西洋文明圏古代文明をさかのぼっても1週間は7日です。

ところで、地球から目撃して観察できる天体の中で、7日を周期にしている天体ってありますか？

ないんです。7は天体の動きに基いて定められたものじゃないんです。7は素数で割り切れない。

なぜ7なんですか？

暦（こよみ）の学者と書いて、暦学者（れきがくしゃ）と言われる人たちがいます。

世の中には、色んな事を勉強したり研究したりする人がいるんですね。暦学者。

昨日テレビを見ていたら、ローカルバスを研究しているというか、そんなん研究してどうすんねん。

暦学者の頭を悩ますのが、年・月・日は根拠が天体だとハッキリしているのに、なぜ天体の動きと全く無関係に1週間は7日と出て来るのか？

しかも、極々限定的な文明圏だけではなく全世界同じ。なぜ西洋でも東洋でもそうなのか？

ある天文学者は星の名前、火星・水星・木星・金星・土星で火水木金土。だからやっぱり、天体の動きで7が決まったんじゃないかと言うのですが、天体の数はそれぞれの時代が変わって、そして7つの天体となっている時代はありません。

という事は、天体の数よりも、人類共通の先祖の中に7日という七曜（しちよう）カレンダー/7で1つの単位とするという事があったので、それに合わせて後から天体の名前を付けた、と考える方が話が通じるんです。

創世記・出エジプト記には「このように、神は天と地と海とその中にあるすべてのものを6日で造られ、7日目に休まれた。」

6日働いて1日休む。7日で1つの単位とするという事が、聖書の最も古い書物群の中に出て来る。

つまり、人類は元々共通の先祖で、初めから七曜を知っていたというところに立たない限り、洋の東西を問わず、古代文明の時代から七曜を採用している事について、理論的につじつまが合う説明は付かないんです。

ここで聖書の話・神様を紹介していますが、外国の神様の話をしているんじゃないんですよ。

イスラエルの神は日本人の神です。人類をさかのぼると、ユダヤ人も日本人も同じ先祖/アダムです。

全ての人間のルーツ・元をお造りになった方。私たちの魂の親。あなたの命の根源者。

その方を聖書は神/創造主と言います。創造主なる神はご自分の形に似せて人間を造りました。

並み並みならぬ関心を持ってあなたを造られたので、あなたに対して真実・誠実です。

私たち人間でも、自分の渾身の作品には傷を付けられないように守るんじゃないですか？

この神だけが信頼に値する方です。

人間が作った神々は空想上の存在で、信頼しても返って来るものはありません。創造主だけが実在するあなたの作者なんです。

2. 神による希望

5月の自粛騒ぎの時、パチンコ店も自粛という事で全国で自粛したけど、大阪に断固として閉じないというお店がありました。平野（ひらの）にも。

その時「あそこでやってる」というのが分かったと、県境を越えてやりに来る。

皆さん、おやりになった事のない方が多いかも…。私、高校生の時に初めてパチンコやったんです。今、大和王寺（やまとおおじ）で開拓伝道しているクサカさんに誘われたんですよ。クラスメートで。「パチンコ、行こや。」「そんなん、良くないんじゃないか。」「ええやん。行こ行こ。」そしたら勝った。勝ったんですけど、30分くらいやったかな、もうそれで卒業。面白いと思わなかったんですね。引力の法則で玉が上から下に行って、釘に当たって穴に入っていく。なんやこれ？私はハマらなかつた。良かった良かった。ちょっと別の事にハマってしまったんですけどね。将棋ゲームにハマってしまって抜けられない。それはどうでもいいんですけど。

そんなに反対されてもなぜ行くのか？本人は行きたくなくても行ってしまおうんです。

これは依存症です。治療を必要とする病気ですよ。

あらゆる博打は胴元が損するようにはなっていないですよ。胴元が必ず儲かるシステムで、博打・ギャンブルは動いている。行っても搾り取られるだけなのに、なぜ行ってしまおうのか？

大成功経験があって、射幸心（しゃこうしん）と言うのですが、「今度こそは！」という希望を持ってしまおうんです。「今回は負けた。しかし、次こそは。」「昨日は負けた。でも、今日は良い台取れた。」この希望。

ギリシア神話の『パンドラの箱』をご存知ですか？

神が人間世界に復讐するための悪いもの・忌まわしいもの・不幸なものがいっぱい入っている箱があって、それを開けると戦争・病気・喧嘩・殺人・詐欺・不信・噂話、悪いものがブワッ出て来て。

1番最後に、箱の隅っこに残っているものがある。なんや？と覗いたら希望。

「ギリシア人は『世の中に悪いものがいっぱい出回ってしまったけど、でも希望がある』と。これは素晴らしいじゃないか。」高校2年生の時に、倫理の先生に教えてもらって「いいなあ」と思いました。

でも後に、田中美知太郎（たなか みちたろう/1902-1985/M35-S60）先生（ギリシア語の大家です）の解説を読んで、「ええっ！そういう意味か！」

ギリシア人は「悪いものがいっぱい入っている箱の中で、1番悪いのが希望だ」という考えやと。

希望ってええんちゃうん？

いや。どんなに望んでも応えられない事の希望・どんなに望んでもどうにもならない事を、どうにかならんんじゃないかと、淡い希望を抱き続けて人生を終わってしまうという。

いかに多くの人が、かなえられない希望に人生を費やしてしまったのか。

それでギリシア悲劇の説明を始めて行かれるのですが、いやあ、暗いわ。でも、真実を言い当ててますね。しかし、聖書が言っている希望はそうじゃない。神による希望。

私は昨日おとといまで新潟におりました。新潟、3日間大雨。

家内が横田恵（よこた めぐみ/1964-）さんの拉致現場の所まで行って、こんな所だと写真撮ったんです。家内が映ってたんですけど、髪の毛が爆発。これ、ネタになると思って「あれ、どうした？」

「消した。あんなの世の中に出回ったら、町歩けない。」

すごい大嵐の天候で。でも、そこで祈って、とても充実した旅になりました。

北国は夏よりも冬の方が、もったきついですよね。雪。

毎年、青森の弘前に聖書講演で参上するのですが、いつも9月。10月はまだ寒い。だから9月と決めてる。冬は無理です。津軽地方は地吹雪。吹雪は上とか横から来る。地吹雪ってね、下から来るんですって。あまりにも強力な吹雪なので、地面に一旦当たって、跳ね返って下からも来るという。私には絶対無理。

そのような東北地方特有の冬の気候の1つに“三寒四温”（さんかん しおん）があります。

3日寒い日が続いたら、4日暖かい日が続く。冬に向かって、右肩下がりで毎日毎日下がって行くんじゃないで、3日寒い日が続くと4日暖かくなり、また3日少し寒くなって、また4日暖かくなって。

「寒いなあ」を3日我慢したら、あったかい日がまた来るという事で、北国の厳しい気候に於いて、まるで人を励ますために、「辛い事ばかりじゃなくて、今耐えたら良い事も来るから」というのを繰り返しながら、冬を超えて行くそうです。

自然界の天候一つを見ても、自然界を造られた神様が、いかに希望で励まそう励まそうとしておられるかという事が分かるんじゃないでしょうか。

神は人間を見捨ててはおられない。「希望があるよ！」って。

希望とは、何かに向かって取り組んで行こうという気持ちを起こさせる力だと思います。

夏の暑い時に田畑を耕したりとかの重労働をするのは、収穫の時に、何十倍になって返って来るという希望があるからです。望みがあつたらハッスル出来ますよね。

希望がなかったら、今良くて将来に悪い事しか待ってないという事であるならば、踏ん張りきかんですよ。

しかし、神は希望を与えてくださった。イエス・キリストをこの世界に遣わしてくださったんです。

神が人となってこの世界に来てくださったのは「神によって人は何とかなるよ。」

キリストが来ててもどうにもならないという事なら「昔、立派な人がいたなあ」というだけで、私と何の関係もありません。

キリストは人間を新しくし、全ての罪を赦し、新しい人生を与えるために、この世界に来てくださった。

そして、私たちに励ますために、神は人間を経験してくださったんです。

私たちが経験している辛さの中で、キリストが経験していないものはありません。

人間的に最も不幸な生き方/人生であったイエス・キリストは、私たちに命と祝福を与えるために、この世界に来てくださったんですね。このキリストにかかっている希望は朽ちる事はありません。

3. 神の愛

今『ごうちゃんねる』という個人のYouTubeをやっているんですが、来週絵本の紹介をします。

絵本っていいですよ。6冊を3冊ずつ紹介しようと思って。家にまだたっぷりあるんですが。

その中の『ママのスマホになりたい』という絵本。

これはシンガポールの小学生が自分のお母さんについて書いたもので、新聞に載ったんです。

その記事を見た童話作家の のぶみさんが新聞社の許可を得て、それに少し肉付けをして絵本にしました。

主人公はかんたろう。この子がレゴのブロックで、一生懸命に会心の作品を作り上げました。

「われながら、ほれほれするぜ！ママ、見てー！」しーん。「あれ？ママ、お出かけしたのかな？」

フッと後ろを見たら、ママはソファに座って、スマホをずっとやっている。
「ママ、見て！」返事がない。それどころか、鼻くそほじくってやってる。「うわ！ママ、何してるの！」
そういえば最近のママは、韓流ドラマを見て、CMになったらすぐスマホを触って、赤ちゃんが泣いたら
すぐ抱っこして。テレビ→スマホ→赤ちゃん、テレビ→スマホ→赤ちゃん。これをずっと繰り返してる。

で、番組が終わりました。「かந்தろう、冷たいジュース飲もう」とママが親切に持って来てくれたのに
「いらんわ！」「あなた、親に向かってなに？その言い方は！」「いらんわ！」
「何を怒ってるの？何をしたって言うの？」「いらんわ！」
口論して親子が陰悪な関係になり、感情的になったかந்தろう君がママのスマホをカーン叩いた。
スマホがバタッと床に落ちたその時、世の中で1番大事な宝物を壊されかけたような怒り方。
ギャンギャンギャンギャン!!

それで、かந்தろう君は家の中にバリケードを作るんです。
段ボールで境界線を作って「ここ、国境。入りたい人は手続きが要ります。」
ママもちょっと言い過ぎたかなと思って、和解のために「じゃあ、君の国に入ってみようかな。」
「持ち物検査します。この国には2つの物は持って入る事は出来ません。1つ、スマホ。1つ、赤ちゃん。
赤ちゃんもいらん。来るな。」「もし、スマホを持って入ったらどうなるの？」「今度こそ、叩き潰す。」
「まあ、頑固な子」みたいな感じで。

次の日、かந்தろう君が幼稚園に行って、親が迎えに来る時間、最終の時間のところで、先生が「みんな
は大きくなったら何になりたいかな？」「サッカー選手！」「ケーキ屋さん！」「野球選手！」「消防士！」
「おまわりさん！」色々。

「かந்தろう君、何になりたい？」「ママのスマホになりたい。」それを廊下でママが聞いている。
「ママがスマホばかり見てるんなら、ママのスマホになりたい。
ママがテレビばかり見てるなら、テレビになりたい。
赤ちゃんの事しか気に留めないんなら、赤ちゃんになりたい。
でも本当は、ほんとの本当は、僕のまま愛してほしい。
ママの気にいる何かに変身して、そして受け入れてくれるというんじゃなくて、僕のまんまで、僕のこと
見てほしい。」
ここで終わるのですが、何か心に残ったんですね。

ありのままの自分で受け入れてもらいたいというのは、子供だけの願いではなく、全ての人が持っている
願望ではありませんか？
立派になったら・道徳的になったら・煙草やめられたら、というのではなく、そのまま・罪人のまま・い
っぱい問題持っているまま。
その私を誰か世の中の人には愛してくれるだろうか？
何も提供できるものがなくなった時、誰が私に振り向いてくれるだろうか？
何もできなくなっても、寄り添ってくれる人はいるのだろうか？
います。それがイエス・キリストです。いつまでも残る愛をお持ちの方はイエス・キリストだけです。

この方は私たちが「クリスチャンになったら愛してあげる」のではなく、私たちがまだ罪人であった時、
その罪のためにご自分を十字架の上で捨ててくださることによって、神の愛を明らかにされました。
キリストのご人格は愛です。

一番すぐれているのは愛ですとは、キリストのご人格を1番反映している。
神とはどんな方なのか。それは愛。

しかし、愛だからといって、悪い事をした人を片端から赦して行ったら神様の正義が成り立たない。
神の正義を貫きながら、同時に罪人を赦すために、神は全く罪のないイエス・キリストを十字架の上で私の身代わりとして裁いてくださったんです。

裁いただけではない。この方はイエス・キリストの上に神の怒りを振り下ろしただけでなく、3日目に死者の中から復活させてくださったんですね。
イエス・キリストを自分の救い主として信じる人は死んで終わりではなく、死んだ後に復活するという希望があります。

その希望を手に入れる事のできる手段は1つだけ。信仰。ただ信じるだけ。ただ頂くだけ。
“信仰”は“エムナー”ですが、“その通り”の意味もあるんです。
神がしてくださった事を「その通りです」と、単純に幼子のように受け入れる者を、神はその信仰を義と認めてくださるのです。

神による信仰、イエス・キリストにある希望、イエス・キリストによって明らかにされた愛。
これを是非受け入れていただきたいと思います。
「この救い主を私の救い主とします」と信じる決心をなさって、新しい人生の中に入れてください。
神様の子供としての人生を再スタートなさってください。
心からお勧めしたいと思います。

お祈りします。
恵み深い父なる神様、「いつまでも残るのは信仰と希望と愛です」とありましたが、私たちは不信仰で、
また失望し易く、ある時は絶望し、また愛とかけ離れた者です。
あなたはそんな私に信仰を与える事ができるお方。朽ちていかない希望をプレゼントして下さる方。
なによりも、愛そのものであられるイエス・キリストを私たちに与えてくださいました。
神様、神の側で出来る全部をしてくださったので、今日、神様の働きかけにお応えする事ができるように、一人ひとりを促し、決心を与えてください。
この時間を感謝し、イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

^^^

- * 動画は YouTube で「[HCA 東住吉キリスト集会](#)」
- * ラジオ番組「[聖書と福音](#)」(約14分)も是非どうぞ。YouTubeもありません。
- * YouTube「[ごうちゃんねる](#)」(約10分)も是非見てください。

動画筆記: Rumi